



同窓会報

2020年9月 <年1回発行>
発行
県立尼崎中学・高等学校 同窓会
発行責任者
同窓会長 石井 良昌



「本校創立100周年に思う」

同窓会会長



石井 良昌

(36回生)

思います。

今春、県立篠山東雲高校から本校に転勤された板羽茂雄校長とお話しさせていたしましたが、教育への情熱あふれる取り組みは素晴らしいものを持たれ、大きな期待を持ちました。

この創立100周年祝賀会は2023年秋に都ホテル尼崎で開催する予定です。

本校は1923年（大正12年）に設立され、あと3年で創立100周年を迎えます。当時、尼崎市に県立中学校建設の要望の声が市民からあがりましたが、財政難で設立が認められないところ、私たちの先人たちが市民の手で学校を作ろうと、市民運動を始め、地域の方々に寄付を募り多くの方々の努力で県立尼崎中学が開校されたという歴史が本校玄関の壁に残されています。

私たちが暮らす今の社会は高度化した産業のIT化、少子高齢化、人口知能化（AI）グローバル化など世の中が目まぐるしく変化する中、新型コロナウイルスという感染症が出て、人々の新しい生活様式まで変えるという、先が見にくい不透明な時代だと言われています。こういう時代だからこそ県立尼崎高等学校の校風を活かして「生きる力」をしっかりと身につけ新しい変化に適応していくべきだと思います。今の世の中、自分さえよかつたらいいという考え方ではなく、人に対する思いやりを持つて人のお役に立つ人をめざしてほしいと

最後になりましたが、本校の32000人からの卒業生の中には日本のリーダーとしてまた各界のリーダーとして活躍されている方も多数おられます。これも偏に歴代の校長先生をはじめ教職員の皆さまのご指導とご尽力の賜物と深く感謝いたします。

今の県尼の現状は特色ある学校づくりの一環として「県尼発、先生への道」に取り組み、広く人材育成にとめておられます。このような県尼の素晴らしい歴史と伝統を今後も大切にしていきたいと思います。

「着任のご挨拶」



校長

板羽 茂雄

会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますこと厚くお礼申し上げます。

この度の異動により、校長に着任いたしました板羽茂雄と申します。前任の児玉敏男校長より、引き継ぎに際して、同窓会の皆様にはひとかたならぬご助力をいただいておりまること知るにおよび、約100年の歴史と伝統の重みをそしてその歴史とともに歩んでこられた同窓会の皆様のご活躍を感じている次第です。今後は、歴代の校長ならびに教職員の皆様、ご支援いただきております同窓会をはじめとする皆様方のご期待に添えるよう微力ではございますが、尽力させていただく所存です。

さて、本年度は、新型コロナウイルス感染症により、全国に緊急事態宣言が発せられる未曾有の事態の中が始まることとなりました。本校についても、4月8日に始業式、入学式を開催することがかなわず、放送による私の講話と入学説明会の実施という異例のスタートを切る事態となりました。その後は、完全に臨時休業となり、5月半ばからの週1回の登校日をへて、6月1日より休校が解除され、午前午後にわかった分散登校を行ったのち、6月15日からは、「新しい生活様式」によりながら平常の学校生活が戻ってきています。

生徒たちは、3ヶ月ぶりの学校再開に喜びを隠せない様子で学校生活をおくり、授業に部活動にとぞれぞれ頑張ってくれています。

ご承知のとおり、3年後の令和5年には創立100周年という大きな節目を迎えます。上野新理事長・実行委員長をはじめとする同窓会の皆様のご協力をいただき素晴らしい行事が挙行できますよう準備も進めていかなければなりません。

また、100周年以降も地域に愛され認められる学校としてその後の「県尼ビジョン」も考えていくことも必要です。そのためにも、本校のさらなる発展のため、創立時の皆様の期待や思いを大切にしながら、教職員一同より一層の努力をして参りたいと考えます。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますことを重ねてお願いし、着任のごあいさつとさせていただきます。

教頭
長谷部 元祥

「県尼の現況報告」

同窓会の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

県立尼崎高等学校は、大正12年に創立され今年で97年目を迎えます。先日（7月2日）、25代校長正岡茂明様が、「教育と絆コース」の生徒に対して授業を実施して下さいました。その中で、

創立当時の大不況の時代に市民の寄付により校舎の建設資金が集まり、市民に切望されて建てられた学校であり、今日に至るまで市民に愛され続けた学校として発展したこと。また、校歌が作られた経緯や校章についての歴史をわかりやすく説明されていました。本校の使命や素晴らしい歴史を再認識しました。「県尼」に勤めて通算11年目を迎えた私にとって、さらに誇りと愛着を感じました。

さて、昨年1年間を振り返ると全国レベルの教育活動として次の二つが挙げられます。まず、現在2年の新井侑光さんがジャパンバラ水泳競技大会に出場することが決定したこと。残念ながら、新型コロナ感染症の影響で、大会が中止になりました。

次に、平成30年度、令和元年度2年間文部科学省より「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究」の指定を受けたこと（全国で数校）。本年度は、新型コロナ感染症の影響で研究指定はありませんでした。しかしながら、平成13年度に始まった「尼崎学」とこの研究指定で築き上げた教育活動のエッセンスを、新学習指導要領の実施に伴い教育課程の中に注ぎ込み、課題解決学習プログラムを通して、生徒の主体的な主権者としての資質・能力の育成を図っています。加えて、生徒全員が体験するインターンシップなど地域と連携した体験的な教育活動が多くあり、他校にはまねのできないキャリア教育を実施しています。このように、素晴らしい生徒の「未来を切り拓く力」を伸ばし、未来を支える人材の育成に邁進しています。

令和5年の創立100周年に向けて、学校・生徒をはじめ、同窓会、保護者、地域がチーム学校として一致団結し突き進む必要があります。どうか一層のご支援とご協力を賜りたいと思います。

「理事長就任あいさつ」

理事長 創立百周年記念実行委員長



上野晃司(43回生)

今年度より、柴田侃一前理事長の後任として理事長に補されました上野晃司です。微力ではござりますが、同窓会の皆様のご支援を賜りながら、精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

本年度は、2年は一度の復員改選期で、新しく常任理事・理事を選出させていただきました。同窓会運営にご協力を願い致します。

今後、高校普通科を再編し、現行の普通科と文系・理系などの枠組みを超えた「学校融合学科（仮称）」と地域社会の問題解決を目指す「地域探求学科（仮称）」の2学科の新設が認められ、早ければ2022年春にも新しいタイプの高校が誕生する等、高等学校教育も大きく変わろうとする中で、母校も児玉敏男前校長から、新しく板羽茂雄校長を迎える、前校長が進められていた学校改革を、さらに推し進めていかれることと思います。同窓会としてもどういつた支援ができるのか、考えていかなければならぬでしよう。

2023年の創立百周年に向けて、昨年度から母校・PTA・同窓会合同の準備委員会を立ち上げ、記念式典・祝賀会の日程等、記念誌の発行、記念品、母校支援事業等々の記念事業計画と予算の策定に取り組みだしました。今年度中には概要を決定し、ホームページで報告させていただきます。

創立百周年記念事業準備委員会(案)

委員長	上野 晃司	43回生理事長
副委員長	大西 俊樹	42回生常任理事
会計	下境田 耕治	57回生会計
委員	井上 正夫	42回生常任理事
委員	前田 雅孝	45回生常任理事
委員	津田 加寿男	47回生常任理事
委員	越山 裕之	64回生常任理事
相談役	高岡 久	31回生副会長
相談役	池辺 善夫	36回生監査
相談役	柴田 侃一	36回生常任理事・前理事長

基金寄付の募集をさせていたが引き受けました。会費納入606名・基金寄付389名の方のご協力で、2,421,895円（振込手数料を除く）を得ることができました。改めて厚くお礼申し上げます。

しかし、本事業を実施するには、さらに多くの同窓生の皆様のご協力が必要となります。今年度は、新型コロナウイルスの影響で経済状況が芳しくないことを鑑み、創立百周年記念事業基金寄付の募集を見送り、会費納入のみの依頼とさせていただきます。

次年度から3年間は昨年と同様にさせていただきたいたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。新型コロナウイルス感染が、増加傾向にあり予断を許さない状況となっています。ご自愛ください。

「理事長退任にあたつて」

前理事長



柴田侃一（36回生）

私は前任の土井一孝（35回生）理事長が2011年1月に急逝されましてその後を引き継いで、4月より今まで5年間伝統ある県尼同窓会の理事長をさせて頂きました。この間いろいろなことがありました。特に印象深いのは、2018年11月に都ホテル尼崎にて行いました95周年祝賀会でありました。実行委員長の大西俊樹氏（42回生）を中心に実行委員会の皆様のご協力で盛大かつ和やかに成功裡に終えることが出来ました。改めて感謝申し上げます。事業としては、母校の調理室に空調設備を寄贈し、生徒さん達に大変喜んで貰えましたと聞き及んでいます。

力不足の私を石井会長をはじめとして役員の皆様に支えて頂き又ご協力頂き、お蔭をもちまして何とか無事大任を果たす事が出来たと感謝しております。本当にありがとうございました。

さて、私の後任の理事長は、上野晃司氏（43回生）です。教職員をされておられ、尼崎稻園高校の校長をされた後、勇退されております。上野氏には、3年後に迎える県尼100周年の実行委員長もお願いしております。上野氏は県尼同窓会を益々活性化してもらえると確信しております。

昨今は、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の状況にあります。今まで経験した事のない事態になつていますが母校県尼の益々の発展と同窓会員のみなさまのご健勝を祈念致します。

兵庫県立尼崎高等学校 同窓会 常任理事

★印 新任

役職	回生	氏名	役職	回生	氏名	役職	回生	氏名
名誉会長	18	中馬 勇	常任理事	38	吉福 末吉	常任理事	55	林 久博
会長	36	石井 良昌	常任理事	39	久保 恭利	常任理事	61	近藤 敏
副会長	23	大附 多美子	常任理事	42	大西 俊樹	★常任理事	61	木村 泰三
副会長	31	高岡 久	常任理事	42	井上 正夫	常任理事	62	高橋 剛
理事長	43	上野 晃司	★常任理事	42	西本 義正	★常任理事	64	越山 裕之
会計	57	下境田 耕治	常任理事	45	前田 雅孝	常任理事	71	佐川 昌伸
監査	36	池辺 善夫	常任理事	47	津田 加寿男	常任理事	定13	比嘉 芳子
監査	51	山中 潤一	★常任理事	48	有田 亨	常任理事	定8	合田 正人
常任理事	21	池辺 孝義	★常任理事	49	樽井 敬明	顧問・校長		板羽 茂雄
常任理事	32	中川 敏行	常任理事	51	黒川 治	相談役・教頭		長谷部 元祥
常任理事	33	北村 保子	常任理事	51	丸岡 鉄也	相談役・事務長		下地 一正
常任理事	35	田村 信子	★常任理事	53	富永 謙一	校内理事	52	中野 裕司
常任理事	36	柴田 侃一	★常任理事	53	中川 まゆみ	校内理事	62	楠田 貴至

兵庫県立尼崎高等学校 同窓会理事

回生	氏名	回生	氏名								
14	市山 弘	34	三木 右至	50	大野 典子	63	藤代 順也	74	今西 亮	83	志田 行謙
16	大西 一	34	宮本 英希	50	藤本 大作	63	山崎 裕理	74	矢部 宏	83	木戸 健人
16	川崎 一郎	35	東潤子	50	南口 恵三	64	小寺 弘晃	75	岡崎 路	83	三木 崇義
18	沢井 昭三	35	中西 瞳夫	50	渥美 充広	64	辻 淳史	75	達間 和也	83	前田 亮
18	柴原 義和	35	野村 恵子	50	堀江 哲男	64	濱崎 広史	75	半田 隆展	83	出崎 圭祐
19	吉竹 昌之	36	津川 圭司	50	高見 善己	64	松尾 修造	75	増田 直嗣	83	作山 泰河
19	松川 利雄	36	坂田 清則	51	西川 専一	64	山川 武司	75	森尾 悠太	84	寺本 裕貴
22	村上 芳生	36	飯田 征功	52	秋田 輝子	65	北村 健晃	76	大塚 佳男	84	砂川 成晃
23	竹内 いつ子	36	今北 雅万	52	榎園 真紀	65	後藤 友宏	76	田畠 潤哉	84	中嶋 宏志
23	大黒 貴	36	岡本 実	52	山本 泰弘	65	高本 靖子	76	伴 理圭	84	山崎 悠
24	伊藤 俊雄	36	高橋 正明	52	桐岡 伸次	66	河野 容子	77	伊宝田 隆	84	岡本 賢斗
24	松井 信夫	37	磯野 一夫	53	赤松 潤子	66	宮崎 真二	77	中島 みゆき	84	森 倭菴奈
25	梶本 純一	37	伊藤 敬子	53	小山 貴美子	67	内田 聰	77	西村 和浩	84	吉田 圭祐
25	小枝 章久	37	辻 博子	53	大内 一浩	67	大西 里香	77	春田 晶弘	86	飯塚 大河
25	西村 太一	38	中野 珠江	54	倉橋 洋一	66	今岡 健一	77	前田 晃伸	86	小谷 聖也
26	小笠原 文治	39	塙山 重夫	54	三井 薫	66	浦野 佳奈	78	川邊 成彦	86	古田 雅也
26	原田 修	40	梶本 修史	55	荒川 好江	67	岸本 知哲	78	桜田 栄一	86	中尾 真実
26	堀毛 貞夫	41	伊藤 文夫	55	金子 弥生	67	貴田 友紀	78	眞柄 晃子	86	前徳 なな
26	南 勇二	41	西村 あつ子	55	岬 弥生	67	富松 宏祐	78	松田 慎也	86	森江 伽奈子
27	近藤 博一	42	石井 生滋	56	大野 哲也	67	北 明徳	78	村上 麻衣	86	山口 莉奈
27	田原 孝太郎	42	宇野 健二	56	富田 誠也	68	江口 篤史	78	家根谷 雄輝	87	岩城 敦希
28	金崎 千恵子	42	土生 好一	56	中西 隆次	68	白石 裕憲	79	生田 賢二	87	岡 優大
28	川本 宗男	43	井谷 審一	57	西村 しのぶ	68	中村 可奈子	79	穢谷 聰	87	大木 翔
28	堀江 完寿	44	岡田 安功	57	十府 敏博	68	松川 洋輝	79	太田 充香	87	小寺 勝悟
28	山田 清胤	44	小島 康男	57	高岡 修司	68	富永 和慶	79	砂川 秀明	87	濱本 菜々
29	井原 重定	44	木村 成二	57	鳴尾 知泰	69	松下 将伸	79	武田 祥弥	87	有賀 楓也
29	坂手 嘉津子	44	澤田 勝	57	三嶋 良治	70	梶谷 光司	79	松山 廉	87	三浦 良平
29	西山 正子	45	奥村 純一	58	池田 真澄	70	桂 一葉	80	李 聰秀	88	杉峰 将志
30	井上 剛	45	國田 敏久	58	上埜 良博	70	佐々木 紀子	80	金 奈未	88	今井 良馬
30	中田 作成	45	黒田 久次	58	前田 信治	71	柏倉 謙作	80	清田 孝寛	88	濱谷 盟
30	橋本 順子	45	藤山 喜正	59	松井 幸二	71	空 増裕美	80	青山 望	88	松下 大起
32	今山 朝枝	46	泉 清映	59	山本 隆教	71	本郷 愛	80	川口 郁也	88	岡田 凜央
32	出原 敏彦	46	角田 邦雄	59	松村 恵子	71	宮森 寿章	80	山口 美咲	88	鴻池 隼
32	船引 洋生	46	官原 利之	60	山上 裕之	72	足高 裕一	81	上田 静香	88	水津 賴汰
32	山岡 伸行	46	吉田 健三	60	尾上 直子	72	大田 真也	81	北川 淳	89	江藤 瞳人
33	池田 正	47	北野 和博	61	上辻 和実	72	小財 陽子	81	橋本 武蔵	89	長尾 岑乃花
33	上村 雅之	48	川波 哲也	62	坪田 佳之	73	角中 昭太	81	山本 貴也	89	荒川 瑞希
33	押谷 昌宣	48	津田 志津子	62	一氏 和美	73	中尾 恭子	81	岡本 佑斗	89	西岡 碧覇
33	木幡 敦子	48	宮崎 玲	62	岩田 勝巳	73	山川 元喜	82	砂川 寛亮	89	伊藤 陽仁
33	村田 靖子	49	田中 ひろみ	62	林 勘介	73	山添 孝洋	82	木下 舞	定13	比嘉 芳子
34	杉浦 誠一	49	柳川 修	62	吉本文子	74	小村 智岐	82	宮脇 達也	89	中田 篤史
34	田中 和代	50	一階 秀弥	63	國安 みちる	74	毛利 悅章	82	土山 大智	89	濱本 正彦
34	日比 肇子	50	大谷 聰美	63	藤坂 黃	74	渡辺 渚	82	岡 貴大	89	合田 正人

兵庫県立尼崎中学校・尼崎高等学校同窓会
令和元年度 収支決算報告
(自令和1年4月1日 至令和2年3月31日)

(収支決算) (単位:円)

収入	支出	差引残高
9,661,351	3,780,159	5,881,192

(収入) (単位:円)

科目	収入済額	前年度予算額	比較増減
前年度繰越金	944,316	944,316	0
会費収入	1,860,000	2,572,800	△ 712,800
95周年 賛助金繰入	777,000	777,000	
特別会計繰入	5,012,531	5,012,421	110
名簿会計繰入	1,066,908	1,066,907	1
預金利息	56	1,000	△ 944
寄付金	0	1,000	△ 1,000
CD売上金	0	1,000	△ 1,000
雑収入	540	1,000	△ 460
合計	9,661,351	10,377,444	△ 716,093

(支出) (単位:円)

科目	支出済額	前年度予算額	比較増減
事務費	31,266	100,000	△ 68,734
通信費	0	100,000	△ 100,000
クラブ振興費	250,000	250,000	0
文化振興費	50,000	50,000	0
入学・卒業記念品	354,510	400,000	△ 45,490
慶弔費	22,000	50,000	△ 28,000
会報発行費	486,000	500,000	△ 14,000
ID/パスワード 発行作業	2,579,680	2,500,000	79,680
予備費	6,703	6,427,444	△ 6,420,741
合計	3,780,159	10,377,444	△ 6,597,285

令和2年4月15日上記決算報告について会員に説明した所、並びに執行されざるものと認めました。

監査委員 土 田 郁 先

監査委員 山 中 譲 一

監査委員 沼 田 勝 央

監査委員 山 中 譲 一

兵庫県立尼崎高等学校同窓会創立百周年記念事業
関係等、令和元年度基金・同窓会費入金状況報告書

基金

389人	5,000円	1,945,000円
1人	10,000円	10,000円
1人	35,000円	3,5000円
合計		199,000円

会費

606人	1000円	606,000円
振込手数料		174,105円
残		43,1895円

入金合計	2,596,000 円
手数料	174,105 円
現在の残高	2,421,895 円

基金分	1,990,000 円
会費分	431,895 円
合計	2,421,895 円

*振込者数

会費のみ	238人
基金のみ	23人
会費+基金	368人

合計 629人

令和2年4月28日

百周年記念事業構想委員会
委員長 上野晃司

兵庫県立尼崎中学校・尼崎高等学校同窓会
令和2年度 普通会計予算

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
前年度繰越金	5,881,192	944,316	4,936,876	
会費収入	1,800,000	2,572,800	△ 772,800	3学年 300×6,000
95周年 賛助金繰入	0	777,000	△ 777,000	
特別会計繰入	0	5,012,421	△ 5,012,421	定期預金
名簿会計繰入	0	1,066,907	△ 1,066,907	普通預金
預金利息	1,000	1,000	0	単価計上
寄付金	1,000	1,000	0	単価計上
CD売上金	1,000	1,000	0	単価計上
雑収入	1,000	1,000	0	
同窓会費	931,895	0	931,895	
合計	8,617,087	10,377,444	△ 1,760,357	

(支出)

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事務費	100,000	100,000	0	
通信費	100,000	100,000	0	
クラブ振興費	250,000	250,000	0	
文化振興費	50,000	50,000	0	
入学・卒業記念品	400,000	400,000	0	記念品購入費
慶弔費	50,000	50,000	0	
会報発行費	154,000	500,000	△ 346,000	
ID/パスワード発行作業	176,640	2,500,000	△ 2,323,360	システム管理費 送料含む
予備費	7,336,447	6,427,444	909,003	
合計	8,617,087	10,377,444	△ 1,760,357	

令和2年3月31日現在財産目録

普通預金(普通会計): 5,881,192 円(尼崎信用金庫長洲支店・口座番号004-4035446)

合計額 : 5,881,192 円

平成31年度・令和元年度
兵庫県立尼崎中学校・尼崎高等学校同窓会 事業報告

月日	事業名	内 容 等
4/8	入学式	大附副会長・柴田理事長出席
4/23	第1回常任理事会	県尼会議室 午後4時～出席者26名 ・平成30年度 事業報告・決算報告 ・平成31年度・令和元年度 事業計画(案)・予算(案) ・全会員への会報発送について ・百周年記念事業について
5/27	会報委員会	高岡・柴田・池辺・井上・大西・上野
6/11	県尼祭	
6/12	会報委員会	高岡・柴田・池辺・井上・大西・上野
6/27	会報委員会	高岡・柴田・池辺・井上・大西・上野
7/中旬	会報誌発行	約18,000部
10/4	体育祭	
11/29	第2回常任理事会	県尼会議室 午後4時～出席者21名 来年度理事・常任理事について 百周年記念事業について
12/11	第1回百周年記念事業構想委員会	県尼応接室 午後4時～ 上野・大西・井上出席 百周年記念事業 学校・PTA・同窓会合同準備委員会
2/28	卒業式	石井会長・柴田理事長出席
3/2	第2回百周年記念事業構想委員会	県尼応接室 午後4時～ 上野・大西・井上出席 百周年記念事業 学校・PTA・同窓会合同準備委員会
3/25	役員会	中小企業センター 午後4時～ 新規常任理事委嘱について

★ 令和2年度同窓会事業 ★

[主な事業項目]

1. 学校行事への参加
・入学式 ・体育大会
・県尼祭 ・コンサート ・卒業式
・その他課外活動の支援など
2. 役員会・常任理事会の適宜開催
3. 同窓会会報の発行
4. 100周年記念事業の検討
5. IDパスワード発行・通知
6. 同窓会愛称募集

兵庫県立尼崎中学校・尼崎高等学校 同窓会会則(抜粋)

- 第1条 本会は兵庫県立尼崎中学校・尼崎高等学校同窓会と称する
 第3条 本会は会員相互の親睦を計り母校の発展並びに教育事業を援助することを目的とする
 第4条 本会はその目的を達成するために次の事業を行う
 1 会員名簿の管理及び会報の発行
 2 懇親会を開くこと
 3 母校並びに母校在学生の後援をすること
 第5条 本会は次記の者を以て組織する
 1 正会員
 A 母校卒業者
 B かつて母校に在学した者であつて理事会の承認を得た者
 C 準卒業者
 2 特別会員
 A 母校現職員
 B 母校旧職員
 第6条 本会に次の役員を置く
 1 会長 1名 理事の互選とする
 2 名誉会長 若干名 理事会の承認を得た者
 3 副会長 2名 理事の互選とする
 4 理事長 1名 理事の互選とする
 5 理事 会員は卒業年次毎に若干名迄選出する
 特別会員からも數名選出する
 6 常任理事 若干名 理事の互選とする
 7 会計理事 2名 理事の互選とする
 8 顧問 校長がこれにあたる
 9 相談役 教頭及び事務長がこれにあたる
 10 参与 本会に特に貢献のあった者で、理事会の承認を得た者
 11 監査 2名 理事の互選とする

- 第7条 役員の任期は2ヶ年とする。但し、再任を妨げない
 第8条 役員の任務は次の通り。
 1 会長は本会を代表し会務を管掌する。
 2 副会長は会長を補佐し会長支障のある時は之を代行する
 3 理事長は常任理事会及び理事会を統括する
 4 理事は理事会を構成し会務を評議する
 5 常任理事は常任理事会を構成し会務を評議する
 6 顧問、相談役、参与は会長及び理事会の諮問に応ずる
 7 会計理事は本会の経理を掌握する
 第11条 理事会は会長が必要と認めたときその都度これを開催する
 第13条 総会に於いては次の事項を行う
 1 会計、庶務その他重要事項の報告
 2 役員の改選並びに発表
 3 理事会で決定した事項、その他必要な事項
 第14条 理事会は次の事項を行う
 1 会務庶務の処理
 2 会務の審議決定
 3 その他必要な事項
 第15条 決議はすべて出席会員の過半数による
 第16条 本会の経費は会費、寄付金及びその他の収入を以てこれに充てる
 第17条 正会員は入会金として卒業時に金7,200円を納付する。
 卒業後は同窓会費として年に1,000円を納付する
 また、別に臨時会費を徴収する事がある。
 第18条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる

(注) 昭和63年度より、定時制卒業生及び併設中学校の卒業生を同窓会名簿に登載、会員として認めることになった

平成22年(2010年) 5月15日改正

平成31年(2019年) 3月 1日改正

トピックス 夏季兵庫県高校野球大会(156校参加)においてベスト8達成

★ベスト8から得たもの★

この度、県立尼崎高校野球部は、令和2年度夏季兵庫県高等学校野球大会において、22年ぶりとなるベスト8を達成し上位8校に入り、敢闘賞を受賞することができました。ここで、野球部の1年間の軌跡と皆様への感謝を綴らせていただきたいと思います。昨年の秋、新チームがスタートし、選手たちは「兵庫県でベスト8」という目標をたてました。そして、阪神地区大会で優勝し、第一代表で県大会に出場しました。しかし、県大会2回戦で、強豪私学のチームに全く歯が立たず惨敗し、目標である兵庫県ベスト8を達成することができませんでした。何かが足りませんでした…。

そして、もう一度練習を積み重ね、新たな目標に向かっていた3月、新型コロナウィルスにより、全国で学校が休校になり、部活動が休止になりました。それにより、春季大会も中止になりました。他クラブの総体中止が決定し、高校野球も、甲子園やそれに繋がる各県の選手権大会が中止となりました。その状況下のなか、部活動が6月から再開されるようになり、夏の兵庫大会の代替大会の開催が現実味を帯びてきました。

短い期間での練習でしたが、野球ができるよろこびを感じ、代替大会の開催に期待を寄せながら、チームのひとり一人が前向きに取り組むようになりました。

そして、代替大会が正式に決定したと同時に、ベスト8で打ち切りという残念な内容も知りました。しかし、選手たちは、大会が開催されることや、秋と春に達成できなかったベスト8に再び挑戦できるようになったことに感謝を

し、最後は全員で戦うという強い意志が芽生えました。それから、主将を中心に、何事にも前向きとられられるようになり、辛い時やピンチの場面でも、我慢と粘りで乗り切るようになりました。



★ 地域貢献活動 ★

：生徒会：

- ・庄下川と周辺の掃除(9月)
- ・金楽寺カフェ(秋～冬)
- ・小田高で他校の生徒会と
自転車ルールの話し合い(秋ごろ)
- ・校外清掃 2年/6月、3年/10月、
1年/2月

学校周辺の道路等清掃活動

：JRC文化部：

- ・金楽寺 夏祭り…自転車整理、
雪祭り…屋台手伝い
- ・尼ドラ 夏祭り…屋台手伝い
- ・成人の日 ボランティア 受付
- ・商工会議所周年事業「城楽」店番

7月下旬になりました。苦しい展開が続くなかった、2回戦、3回戦、4回戦と駒を進めることができました。この大会期間中のなかで、練習場所や時間を譲ってくれた他クラブ。応援、祝福をしてくれた生徒や先生方。さらに、県尼の野球カバンを背負った部員を見るたびに激励していただいた近隣住民の方々。皆様のおかげで、幸せな期間を過ごすことができました。

そして、迎えた8月7日。兵庫県ベスト8を懸けて姫路球場へと出発しました。勝っても負けても3年生にとっては最後の試合。スタンドの応援には、1年生部員とマネージャー、3年生の保護者しか入れませんが、学校、OB、そして今まで戦ってきた阪神間の高校の選手の想いを背負って戦いました。試合は苦しい展開でしたが、ホームランで1点を勝ち越すことができました。その後は我慢の連続でしたが、出場選手だけでなく、ベンチでサポートしてくれた選手、スタンドで応援してくれていた、1年生部員、保護者、そして関わっていただいたみなさんの想いと共に耐え抜きました。ゲームセットの瞬間、念願の兵庫県ベスト8を達成することができました。県尼の校歌を聴きながら、一番に浮かんだこと…それは『感謝』です。勝つたびに、選手やマネージャー、顧問を含めたチーム全体が、多くの人に支えられながら生きていることに気づかされました。

最後になりましたが、学校の皆様、保護者の皆様、OBの皆様、大会開催にご尽力頂いた高野連の方々、対戦したチームの方々、この場をお借りして感謝申し上げます。そして…野球部のみんな『ありがとう!』

県尼同窓会の愛称募集

同窓会の愛称を再度募集します。同窓会の正式名称は「兵庫県立尼崎高等学校同窓会」ですが、少し堅苦しくないでしょうか。創立百年を超える伝統校は、愛称を持っています。

そこで、より愛着を感じることのできる名前を募集することとしました(3~4文字)。

例えば県立伊丹高校同窓会では「緑窓会」です。

応募方法は、ホームページに投稿のページを作ります。あるいは、直接ホームページのメールアドレスに送つていただいても結構です。(仮)同窓会事務局にはFAXもしくは葉書にて受け付けます。

一応の締め切りを12月末に設定します。その後、選考委員で3月いっぱい議論をして決めさせていただき、4月初めに結果発表します。

採用案のご提案者の方には、謝礼を差し上げたいと思っております。

奮って、ご応募ください。

尚、今後もホームページでの情報発信・データ更新等の活用をよろしくお願ひします。

✿令和2年度人事異動一覧表✿

✿会員コード、パスワード✿

振込用紙の上部に記載しています
これはサンプルです

同窓会ホームページの右上の「会員ログイン」から下記「会員コード・
パスワード」を入力し『会員マイページ』にお入りください

<https://www.web-dousoukai.com/kenama/>

あなたのユーザーID(会員コード)は 23303510 です。
パスワードは abc123 です。

尼崎 太郎 様

重要な情報です。大切に保管下さい。

職名	名前	新 所属	職名	名前	新 所属
校長	児玉 敏男	退職	教諭	沖谷晃一郎	県立芦屋
主幹教諭	下浦 広章	市立伊丹	教諭	菊本 玲子	退職
教諭	荒川 稔	県立伊丹北	養護教諭	定金 栄子	県立西宮南
教諭	堀田 清美	県立宝塚	臨時講師	齋藤 匡紀	県立生野
教諭	西海 耕平	県立国際	臨時講師	上神 智弥	県立川西北陵
教諭	岩橋 達彦	県立尼崎北	臨時講師	吉田 弘樹	退職
教諭	上村 恵子	県立東灘	臨時講師	田村 秋穂	留学
教諭	米本 匡男	県立伊丹	臨時事務職員	神足 美和	県立芦屋特別支援
教諭(再)	長尾 靖	退職	臨時校務員	渡邊 哲司	県立伊丹西
教諭	井奥 浩文	県立芦屋特別支援			

転入者					
職名	名前	新 所属	職名	名前	新 所属
校長	板羽 雄茂	県立篠山東雲	教諭	出川 英世	県立播磨南
教諭	八尾 未来	県立神戸甲北	教諭	岡本 哲弥	県立伊丹西
教諭	高崎 純矢	県立姫路北	養護教諭	富田 操	県立西宮南
教諭	原田 高之	県立阪神昆陽	教諭	中野 佳和	兵教大派遣
教諭	中村 大介	県立兵庫工業	臨時講師	吉村 晨	県立三田西陵
教諭	真柄 学	県立尼崎北	臨時事務職員	坂本有里佳	大阪市立九条北小
主幹教諭	佐藤 和之	県立長田	臨時校務員	本田 良行	県立尼崎小田
教諭	森下 博也	県立神戸北			
教諭	唐木 尚宏	県立赤穂			
臨時講師	河野 康英	県立神戸北			

✿編集後記✿

今年は早春から新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、7月に入って再び感染者拡大の状況で、油断できず、厚労省から新しい生活様式が提言されています。残念なことに、学校も行事の制約や毎日の授業進捗、更にはスポーツや文化イベント中止など、在校生への影響は計り知れません。

短期終息は望めそうにありませんが、一日でも早く在校生が伸び伸びと勉学に励み、先生方そして卒業生が共に集える学び舎に戻るよう願っております。

県尼高は、教育と絆コース設置や、文科省から実社会との接点を重視した実践研究の指定を受けるなど、先行的プログラムに取り組み、地域と連携した体験学習・キャリア教育が積極的に推進されています。実力ある逞しい人材が次々と巣立っていくことと確信しています。

さて、3年後の創立100周年に向け記念事業準備が着々と進められています。次の世紀へスタートする名門県尼の一層の発展を願い、同窓会一体となって協力、応援してまいります。

コロナに打ち勝ち、皆様と元気でお祝い致しましょう。

最後になりましたが、新型コロナウイルス蔓延のため、同窓会報の発送が遅れましたことをお詫びいたします。

編集委員：高岡久(委員長)・上野晃司・柴田侃一・池辺善夫・大西俊樹・井上正夫